

「笑顔の傘」県都を飾る

世界的アートディレクター 水谷孝次さん岐阜初展示



12月25日
土曜日

発行所
岐阜新聞社
岐阜市今小町10番地
〒500-8577(専用番号)
電話058-264-1151(代)
©岐阜新聞社 2010

子どもの笑顔を写した写真で独自の世界観を表現するアートディレクター水谷孝次さん(59)の展示・パフォーマンス「メリープロジェクト」が24日、岐阜市藪田南の県民ふれあい会館で行われた。子どもの笑顔を地域の活性化に役立てたいと、自治体関係者らも注目している。作品展示は27日まで。

(田中健太郎)

地域活性化へ自治体も注目



世界中の子どもの笑顔の傘で会場を飾ったパフォーマンス。岐阜市藪田南、県民ふれあい会館

水谷さんは、世界中の子どもの笑顔を印刷した傘で行うアートパフォーマンス「メリー・アンブレラ・プロジェクト」を手掛け、これまでに阪神大震災の被災地や米国・ニューヨークの同時多発テロ現場、愛知万博、北京五輪開会式などで作品の発表や演出に携わっている。

県内での展示・パフォーマンスは、東京都や愛知県でアミューズメント施設を運営するアメイジング(岐阜市加納菱野町、長谷部浩一社長)に、県が委託する木育事業の一環として初めて実現した。この日のパフォーマンスでは、日本児童育成園(岐阜市長良森町)の子どもら約30人が傘を一齐に開き、世界中の子どもたちの「笑顔の花」を咲かせた。27

日まで、「笑顔の傘」や間伐材で作った「笑顔のクリスマスツリー」、木製玩具を展示する。水谷さんは今後、県内でも活動を展開する予定で、岐阜市の柳ヶ瀬商店街などを視察。「子どもたちの笑顔は世界の希望。駅前やメインストリートに笑顔でいっぱいになりたい」と話していた。